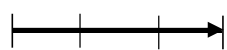
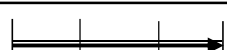
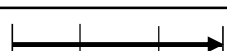
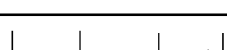
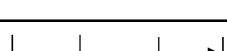
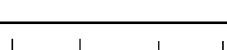
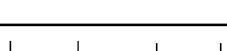
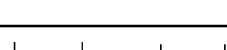
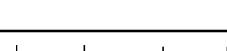
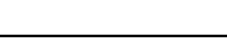
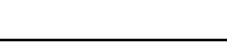
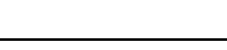


<1.教育・保育の理念・保育観>

令和 8年 3月 31日 <氏名 B >

1-1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	
1-2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが園の重要な使命だと理解していますか。	
1-3	あなたは、日頃から「幼保連携型かたひら認定こども園教育・保育要領」をよく読み、その理念を理解した上で、教育・保育内容を考える時のガイドラインとしていますか。	
1-4	あなたの教育・保育が、子どもの生きる力の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	
1-5	あなたは、養護と教育が一体となって行われている、ということ意識して教育・保育をしていますか。	
1-6	今日のこども園には、入園している子どもの教育・保育だけでなく、ひろく地域の子育て支援が義務付けられている事を知り、社会的役割があることを認識していますか。	
1-7	あなたは、子どもに、文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てようと努めていますか。	
1-8	子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	
1-9	あなたは、日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなどの精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	
1-10	あなたは、個人情報の保護に配慮し、子どものその家族についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	
1-11	あなたは、「子ども・子育て応援プラン」に、若者の就労支援や男性の子育て参加等が盛り込まれていることを知っていますか。	
1-12	様々な特徴(障害)を持つ子ども持たない子ども、一人ひとりのありのままの姿を受け止め、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って教育・保育をしていますか。	
1-13	育児の考え方について、保護者とあなたが食い違っているとき、先ず相手の気持ちを受け止め、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。	
1-14	子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。	
1-15	子どもが熱中しているときは、そのときの教育・保育の内容や流れに変更が生じても、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性をもっていますか。	
1-16	あなたは、子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し楽しんでしていますか。	
1-17	あなたは、一人ひとりの子どもに目が行き届いていたか振り返り、これからの教育・保育の課題を見つけることができますか。	

＜2.教育・保育計画・指導計画＞

2-1	あなたは、指導計画を作成する時、「幼保連携型かたひら認定こども園教育・保育要領」を読み、参考にしていますか。	
2-2	あなたは、こども園の方針である教育・保育計画をもとにして、指導計画を作成していますか。	
2-3	教育・保育には指導計画(年・月・日案など)の作成という、あらかじめ見通しをもった計画性が必要だと思いますか。	
2-4	あなたの月案などには、教育的側面(5領域の視点)だけでなく、養護的側面(基礎的事項)もしっかり盛り込まれていますか。	
2-5	あなたは、指導計画を作成するときに、地域の実態や保護者の意向・希望などを考慮していますか。	
2-6	子ども一人ひとりの発達の姿や興味の対象の実態を把握して、乳幼児期にふさわしい生活を展開し、発達に必要な経験を得ていくような月・日案などを作成していますか。	
2-7	あなたの月・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫され具体的なねらい及び内容を明確に設定していますか。	
2-8	複数担任の場合、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・日案などを立てていますか。	
2-9	園の教育・保育理念や方針・目標、あなたの作成した年・月・日案などのねらいや内容を、保護者にわかるように説明できますか。	
2-10	あなたは、季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしていますか。	
2-11	月・日案などが、子どもの実態及び、子どもを取り巻く状況に即して興味・関心に合っていたかという視点から自分の教育・保育を評価・反省していますか。	
2-12	月1回以上、自分自身の指導計画の点検・評価を行い、その結果を次の指導計画に生かしていますか。	
2-13	教育・保育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」を考慮して指導計画を立てていますか。	

＜2)乳児保育＞

2-14	あなたは、一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。	
2-15	哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認合っていますか。	

2-16	授乳について、その子が欲しがるときにやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりとのませていますか。	
2-17	離乳食を食べさせる際は、家庭と連携をとりながら(お帳面等)、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。	
2-18	その子にとって初めての食品を食べさせたときは、皮膚や便性などに異常がないか観察していますか。	
2-19	おむつ交換は「きもちいいね」などとやさしく声をかけたり、マッサージをしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。	
2-20	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じ愛情豊かに応答的に保育していますか。	
2-21	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしていますか。	
2-22	喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。	
2-23	絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか。	
2-24	あなたがどんな状況にあるときにでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	
2-25	あなたは、自分の服装の色合い、頭髮・爪などの清潔や、室内の清潔にも配慮していますか。	
2-26	寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにし、睡眠中の姿勢、掛け布団、呼吸等の確認を必ずしていますか。	
2-27	一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。	
2-28	連絡ノートを活用するなどして、こども園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。	
2-29	0歳児から小学校就学前までの一貫した教育および保育を、子どもの発達の連続性を考慮して展開していますか。	
2-30	乳児期の保育に関するねらいを3つの視点(身体的発達・社会的発達・精神的発達)からしっかり押さえ、保育していますか。	
＜2)3歳未満児保育(1.2歳児保育)＞		
2-31	大勢の子どもを教育・保育するときでも、あなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど、子どもの背景に配慮しながら個別対応の努力や工夫ができていますか。	

2-32	「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、自分で てみようとする気持ちになるように援助をしていますか。	
2-33	あなたは言葉の獲得を子どもの「これなーに？」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもで きるだけその都度 答えようとしていますか。	
2-34	探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたうえで、子どもが要 求する行動を容認できますか。	
2-35	着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやことばかけをしながら、時間を要して も自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	
2-36	食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい 雰囲気ですることができることを第一に考えてますか。	
2-37	子どもがおもちゃの取り扱いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの 発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができますか。	
2-38	「おや、何だろう？」、「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす教材や素材、場を用意 する心配りをしていますか。	
2-39	散歩の時、保育教諭も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子 どもとともに自然物や動物への興味・関心をもつことを大切にしていますか。	
2-40	子どもと会話をする時に、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい 気持ちや伝わった喜びを共感し、言葉に関する感覚や、言葉で表現する力を養っていま すか。	
2-41	あなたは、自分の表情に配慮しながら、子どもにかかわるように、ゆっくり、はっきり、おだや かに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。	
2-42	子どもに「絵本読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待って」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の期待に応えていますか。	
2-43	歌を歌ったり、リズムにのって体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせ、一緒に 楽しむことができますか。	
2-44	わがままで「いやだ」という子どもの内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向 に向けるようにしていますか。	
2-45	自分の思い通りにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせ たり、気持ちを切り替える時間をとり、ゆったりと持つことができますか。	
2-46	子どものこの時期の生活に必要な基本的な習慣について理解し、子どもの意欲を大切に し、一人ひとりの状態に応じて援助しながら、家庭との適切な連携を行っていますか。	
＜3歳以上児教育・保育＞ ア.基礎的事項		

2-47	子どもが緊張したり、不安を感じたときにはあたたかく受け止め、母親のようにやさしく接するなど、家庭的な雰囲気づくりに心がけていますか。	
2-48	あなたは、子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるように、いつも心を開いて、信頼関係をつくる努力をしていますか。	
2-49	子ども一人一人の背景や保護者の状況を理解し、一人一人の発達のパースやその子なりの育ちの姿を尊重していますか。	
2-50	あなたは、幼児期の終りまでに育ってほしい10の姿を理解し、子ども一人一人の子どもの発達を捉え、活動を充実させていますか。	
2-51	子どもの発達の特徴を踏まえて、個の成長と集団の成長としての活動を充実するようにしていますか。	
2-52	子ども一人一人の必要に応じて、心も体もゆったりとくつろげるための空間と時間を作り出す努力をし、環境の工夫をしていますか。	
2-53	少しでも普段と違う具合の悪そうな子どもに気づいたら、自分から体の不調を訴えられるように、やさしく問いかけていますか。	
2-54	日常の生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の変常など早期発見に努めていますか。	
2-55	集団的な遊びや共同的な活動を展開しながら、主体的・対話的で深い学びを考慮して具体的な指導をしていますか。	
2-56	教育と保育を分断するのではなく、総合していくために、常に保育を踏まえながら教育を行っていますか。	
1.健康		
2-57	あなたは、「食育」の考え方を大切にし、食事を「楽しく・おいしく」味わえるように、テーブルの配置や飾り付けなども工夫していますか。	
2-58	あなたは、子どもが、配膳の手伝いなど、食事に興味をもてるような機会を作るようにしていますか。	
	配膳の手伝い等はしていないが、食材の出でる絵本を読み聞かせするなど興味を持てるよう促している。	
2-59	「食育」の活動の一環として、調理をしているところを子どもに見せたり、栄養士や調理員の話の聞かせたりして、子どもたちが食の大切さに気づくようにしていますか。	
	未満児は取り組めていなかった為、今後取り入れていきたい。	
2-60	幼児期の身体機能の発達を理解して、いろいろな遊びの中で十分に体を動かせるような教育・保育をしていますか。	
2-61	天候の具合や活動の内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自らが考えられるように保育教諭が適切に関わり、言葉をかけていますか。	

2-62	トイレに行くことを急がせたり、強制したりせずに、一人一人の排泄の欲求に合わせるようにしていますか。	
2-63	おもらしをしたり、排泄後の後始末がうまくいなくても、さりげなく対応し、自分で出来るように個別の指導がなされていますか。	
2-64	午睡する子どもがいた場合、子どもたちが快い疲労感を感じて午睡に入れるよう、十分な遊びの場や時間を設けるようにしていますか。	
2-65	子どもが自発的に動くことが出来るように、様々な場面で理由やそのやり方などしっかり伝えていきますか。	
2-66	清潔でいることは気持ちよい事と子どもが知るために、手洗い場、トイレなどをいつもきれいにしていますか。	
2-67	子どもがいろいろな楽しさを味わうため、散歩など戸外に出掛ける機会を積極的に多く取り入れていますか。	
2-68	子どもが外で十分に体を動かして遊びに興ずることができるように、日頃から園庭や固定遊具の整備をしていますか。	
2-69	園児一人一人と関わりながら、園児が安心感を持って行動できるようにし、園児の心のよりどころになっていますか。	
ウ.人間関係		
2-70	子どもの思いを受け入れ、関わりしっかりと信頼関係を築いていますか。	
2-71	こども園や先生が好きだといった幸福感を味わえるために、子どもが充実できる活動や場を日頃から用意していますか。	
2-72	あなたは、子どもが嬉しいときや悲しいとき、また困ったり戸惑ったりしたときに、それを伝えたい存在になっていますか。	
2-73	自己表現をする力や相手の言う事をきく姿勢がもてるよう、あなたはそれぞれの子どもの立場や気持ちをくみ取ったり仲立ちをしていますか。	
2-74	子どもの発達段階を理解して働きかけながら、子どもが決まりや約束の大切さに気づき、それを守ろうとする態度を養うように努めていますか。	
2-75	遊びに中で子どもたち自らが試行錯誤しながらつくっていくルールを大切に見守ることができますか。	
2-76	子どもたちのかんかやぶつかり合いを、友達を知る機会や、社交性が育つ過程として受け止め、その育ちを見守ることができますか。	
2-77	一人一人の興味や発達に応じた取り組みをして、子どもたちが一緒に関わり合う喜びを味わう場や機会を用意できていますか。	

2-78	タテ割り保育などの時、発達や生活経験の違いに着目して、それぞれの子どもがもっている課題を見出すことができますか。	
2-79	高齢者や実習生、中・高生等を受け入れるとき、子どもが戸惑いながらも楽しめるように援助し、人間関係を学ぶ機会としていますか。	
2-80	子どもの「あれもできる」「これも楽しそう」といった前向きな見通しを持てるように環境や人との関わりを大切にしていますか。	
2-81	地域の公共施設やそこで働く人々と、子どもの生活との関わりについて、正しく伝えていますか。	
	今後取り入れていきたい。	
エ.環境		
2-82	今日咲いた花、飛んできた鳥や虫など、それぞれの季節ならではの子どもの感動が、あなた自身のものとして受けとめられていますか。	
2-83	園庭や散歩で拾ってきた木の葉・木の実など、いろいろなものを比べたり調べたりして、自然の不思議さや面白さを子ども達と共感するとともに、物の性質や数、量などに対する興味を育てていますか。	
2-84	春に花が咲き、冬には落ち葉になるなど自然の営みについての子どもの疑問に分かりやすく答えることができますか。	
2-85	子どもの質問や疑問にすべて答えたり、すぐに回答を出すのではなく、実物を見せたり、図鑑などで調べたりする誘いかけもしていますか。	
2-86	アサガオの栽培、オタマジャクシの飼育など身近な自然物からでも、動植物の成長の過程を子どもとともに楽しんでいますか。	
2-87	あなたは、最近の社会の出来事に目を向け、理解した上で子どもの興味・関心に沿うかたちでわかりやすく説明することができますか。	
2-88	安心できる人的・物的環境づくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮していますか。	
2-89	子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。	
オ.言葉		
2-90	言葉はコミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、幼児期に言葉を豊かに身に付けられるように努力していますか。	
2-91	子ども達が、生活や遊びを通して、生きた言葉を多く自分のものできるように工夫していますか。	

2-92	日頃あなたは、声の大きさに気を付け、分かりやすい、子どもへの心を込めたあたたかな言葉づかいでゆっくり話すようにしていますか。	
2-93	子どもが登園してきたとき、いつもさわやかに挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしていますか。	
2-94	絵本や童話を読み聞かせるときは、文章の美しさや言葉のリズムの面白さに気を配り、その物語性や、伝統のすばらしさを伝えるようにしていますか。	
2-95	紙芝居や絵本の読み聞かせで、子どもが感動したり想像力を膨らませるように、あなた自身もその内容を楽しんでいますか。	
2-96	子どもが話かけてきたとき、その内容や結論が分かっている、でも、ゆっくり聞いて会話したい気持ちを持ち、言葉で伝え合う場を大切にしていますか。	
2-97	あなたは、子どもの目をやさしく見つめながら気持ちを合わせ、その子の言葉だけでなく、目の動き、顔の表情、体全体の仕草にも注意を払っていますか。	
2-98	子どもと一緒に美しい花を目にした時など、あなたは「きれいだね」だけでなく、もっと多彩な言葉でその感動を表現していますか。	
2-99	あなたは「早く～しなさい」「だめ」「いけません」などの指示・命令する言葉や禁止語を使わず、肯定的な言葉を使っていますか。	
2-100	子どもに言い聞かせるときには、問い詰めたり、押し付けたりせずに、子ども自ら考えるきっかけになるようなわかりやすい言葉づかいをしていますか。	
カ.表現		
2-101	見た事、感じたものに対して、言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。	
2-102	あなたは、その子が感じたままを作品や動きなどで表現していることをくみ取ることができますか。	
2-103	あなたは、絵などの作品に、その子の喜びや悲しみ、驚きなどの感動を読みとろうとしていますか。	
2-104	活動の場面に応じて、リズムやボリュームなどに配慮して子どもの耳に快く響く音を提供していますか。	
2-105	鈴・カスタネットなどのリズム楽器を活用し、子どもが音色やリズムの楽しさを満喫できるようにしていますか。	
2-106	友だちとの合奏が、一人で楽器を鳴らすこととは違った楽しさもあることを体験できるようにしていますか。	
2-107	子どもが自分の作品を大事にされていると感じられるように、展示の仕方などを工夫していますか。	

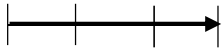
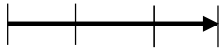
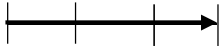
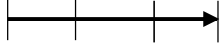
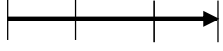
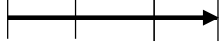
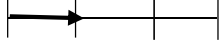
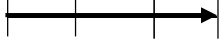
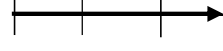
2-108	子どもがいつでもすぐ使えるように、クレヨン、絵の具・粘土・紙などを手近に用意していますか。	
2-109	ハサミなど危険を伴う道具には、正しい使い方や後片付けの仕方を日常的に指導していますか。	
2-110	子どもたちの遊びに、身体を使った様々な表現遊びを多く取り入れていますか。	
2-111	子ども達が様々な事を感じることが出来るように、環境を整え、感性的な出合いを仕掛けていますか。	
2-112	子どもが積極的に表現したいと思えるような環境づくり、言葉かけをし、子どもの表現をまるごと受け止めていますか。	
＜2)行事＞		
2-113	あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。	
2-114	「行事」を保育に取り入れる時には、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。	
2-115	みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。	
2-116	あなたは、子ども達にとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」に工夫を凝らしていますか。	
2-117	子ども達が期待をもって「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意していますか。	
2-118	「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちをくみ取って、行事の中でその子が活動できる場面を用意していますか。	
2-119	保護者が参観する「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらおう気持ちのゆとりをもっていますか。	
2-120	あなたは、「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。	
2-121	子どもも保護者も期待感をもつ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか。	
＜2)延長・一時保育＞		
2-122	長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気配慮していますか。	

2-123	次々にお迎えが来るなかで、「ママ来ないね」のつぶやきに対して、その子の気持ちを受け止めて、安定した気持ちで待つことができるよう適切な対応をしていますか。	
2-124	あなたは延長保育で、一人ひとりが好きな遊びができるように配慮していますか。	
2-125	延長保育の子どもには、担任でなくても、園での様子が保護者に十分伝わるよう、連絡ノートやおたよりを活用していますか。	
2-126	延長保育の時間帯には、とりわけ異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしていますか。	
2-127	一時保育の申し入れには、保護者の事情等の子どもの背景を十分に考慮しつつ、その子を受け入れることができますか。	
2-128	慣れない所に一時的に預けられる子どもの不安な気持ちを考えて、予定している日案を変更するなど柔軟な姿勢をもっていますか。	
2-129	一時保育で受け入れる子どもが安定できるよう、遊びのコーナーや遊具、教材などの準備に配慮していますか。	
2-130	一時保育や延長保育の子どもの保護者に、緊急の連絡がとれるような手だてを確認していますか。	
＜3.保健活動・安全管理＞		
3-1	身長・体重等の測定や医師の診断から、発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の保育に生かしていますか。	
3-2	その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めていますか。	
3-3	あなたは、子どもに何らかの異常がみつかった場合、より適切な処置ができるように、嘱託医の指導を受けるなど日頃から学習をしていますか。	
3-4	あなたは、健康観察で子どもの健康状態をある程度判断することができますか。	
3-5	子ども一人ひとりの体調をしっかり把握し、食事の量や内容を変えるなどの配慮をしていますか。	
3-6	あなたは、睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めていますか。	
3-7	アトピー性皮膚炎・食物アレルギー等の子どもに対して、医師の指導もとに適切な対応をしていますか。	

3-8	あなたは、日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を考えていますか。	
3-9	園内において、子どもの心身に有害な影響を与える行為をしていませんか。	
3-10	備品棚やピアノなどの転倒防止、その他事故が起こらないように、あなたの保育室内外の安全点検を、毎日怠らないように努めていますか。	
3-11	園庭にガラスの破片など危険なものがないか調べたり、砂場を掘り返して整えるなど、安全な環境づくりの努力をしていますか。	
3-12	地震等の災害や火災に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常災害時にあなたが何をしなければならないか理解していますか。	
3-13	登降園時の事故防止について、保護者が何を注意すればよいか、あなた自身が説明することができますか。	
3-14	そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止していますか。	
3-15	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。	
3-16	保育環境を常に清潔に保ち、美観を大切に心地良い環境で保育ができるように努めていますか。	
3-17	室内の温度、湿度、換気、照度等は園児の活動に合わせて配慮し、常に点検、整備をしていますか。	
＜4.保護者・地域社会・関係機関との連携＞		
4-1	園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え、喜び合うことができますか。	
4-2	その日の子どもの健康状態や興味をもった遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	
4-3	保護者から突然、お迎えが遅くなると連絡があった時にも、快く応対するように努めていますか。	
4-4	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらからすすんで触れ合うことを心がけていますか。	
4-5	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞く姿勢がもてますか。	

4-6	あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、園長等と話し合ったうえで受け入れるよう努めていますか。	
4-7	こども園が、保育参観だけでなく時には保護者に保育参観(保育に直接加わる)をしてもらう方針を決めた場合、協力できますか。	
4-8	あなたは、連絡帳を保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。	
4-9	保護者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。	
4-10	地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか、職員間で話し合うとともに、あなた自身もきちんとした見通しをもっていますか。	
4-11	老人会、町内会など地域組織と連携するとき、保育教諭としてどういう役割を担うべきか、考えたことがありますか。	
4-12	放課後遊びに来る学童や卒園児にも、園の子どもと一緒に仲間に入って楽しく遊べるような配慮をしていますか。	
4-13	あなたは、こども園が地域の中学・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどうがらずに指導することができますか。	
4-14	散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会をもつようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	
4-15	地元の公共機関を利用するなど、地域の人々にかわいがられて、子どもたちが豊富な社会体験を得られるようにしていますか。	
4-16	公園などの公共の場を利用した後は、あなたは子どもたちと一緒に清掃するなど、気を配っていますか。	
4-17	あなたは言葉が通じない外国人に、尻込みしないで身ぶり手ぶりでも対応できますか。	
＜5.地域の子育て支援＞		
5-1	あなたは、日頃の保育内容、子どもたちへの保育方法のすべてが、地域の子育て支援につながることを自覚していますか。	
5-2	あなたは、こども園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的に関わりたいと考えていますか。	
5-3	あなたは、相談の基本原則(受容・相互信頼関係・個別性・自己決定・秘密保持)について理解し、子育て相談の実践に生かしたいと考えていますか。	

5-4	あなたは、子育て相談を実施する際に連携すべき機関等(保健センター・児童相談所・福祉事務所・医療機関等)の機能についてよく知っていますか。	
5-5	あなたは、子育てサークル・子育てボランティアの育成・支援に関心があり、勤務園が実施するときには、協力するつもりですか。	
5-6	こども園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解していますか。	
＜6.こども園の職務・役割負担＞		
6-1	園長や主幹保育教諭の指示がどういう意図で出されているかわからない時、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。	
6-2	園長や主幹保育教諭などと意見が合わない時、十分に話し合ったうえで、あなたは上司の指示に従うことができますか。	
6-3	登園を嫌がるが続くなど、問題を感じた時、あなたは園長や主幹保育教諭、先輩保育教諭などに、その原因や対策の仕方を相談していますか。	
6-4	あなたは、職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができますか。	
6-5	職員会議等で自分の意見や考えと違う結論が出た時も、それに従って気持ちよく協力し、実行できますか。	
6-6	栄養士など保育教諭以外の職種の人たちが保育に関わる時、その人たちへの気配りや協力関係に配慮するとともに、保育教諭としてあなたの役割が何であるか理解していますか。	
6-7	あなたは保育教諭として、他の職種の職員やパートの人たちにどんな役割を果たしてほしいか、具体的な期待を持っていますか。	
6-8	あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。	
6-9	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任もって毎日点検・管理していますか。	
6-10	あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば、自らすすんで整えることができますか。	
6-11	あなたの本来の業務以外にこども園に関わる仕事を頼まれたとき、それも職務の一端と考え、責任もって引き受けていますか。	
＜7.保育教諭としての資質向上(研修・研究活動)＞		
7-1	あなたは、保育教諭としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に絶えず努めていますか。	

7-2	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。	
7-3	自分の保育に対する同僚や上司からの批評や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	
7-4	保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司に分かるように説明することができますか。	
7-5	あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。	
7-6	あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題を見つけ、ケーススタディーをすることができますか。	
7-7	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書をみつけて、そこから学ぶことができますか。	
7-8	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べるすることができますか。	
7-9	あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員に分かるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立っていますか。	
7-10	あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか。	
	参加できていない為、機会があれば参加したい。	
7-11	あなたは、研修会の機会があれば、実費でも参加したいと思いますか。	
7-12	あなたの保育実践について、園長をはじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。	
7-13	全ての園児に平等に接するように心がけ、園児のモデルとなれるような言葉遣いを常に心がけていますか。	
7-14	個人情報の取り扱いを十分に気をつけ、適切に取り扱っていますか。	